

今夜7時から  
西成市民館3階  
毎週金曜日

みんなでつくろう  
みんなの会館  
三人よれば荷どかの知恵

# 夜間学校

西成区教之館屋ス-5-23  
連絡先！  
夜間学校

## 春闘・白健闘争 金の団結の軸は 組合とは、どの役割

釜ヶ崎において、春の賃上げ斗争・日健廃止反対斗争が大きく盛り上がった。(日健については、斗争はまだ継続中)  
三月のセンターで釜ヶ崎日雇労働組合・争議団がビラをまき、みんなに呼びかけて、賃上げをかちこった。

賃上げは「タナからボタモチ」式に勝ちこれたのではなく、釜日労・争議団のメンバーだけで勝ちとられたわけでもない。  
呼びかけにたいび、ビラに名の出た人夫出の車に乗らない、あるいは、手配師をとり囲む輪の中に加わる。

交渉を見守る、仲間のなかで話し合うという形で斗争に加わった多くの仲間の力があつてこそ勝ちとられたのだ。  
健康保険法改悪反対・日健廃止反対の斗いは、大阪府へデモをかけると共に、健康保険課と一定の話し、厚生省社会保険庁健康保険課とも東京へ勝利号で出かけた交渉をもつた。  
最低限度の獲得目標、これらのいのちと健康を守る釜ヶ崎の日健適要はなんと維持出来そうな見通しがついた。  
この斗いと成果について、釜日労・争議団のメンバーだけの力ではなく、反対署名に名をつらねた四千名の仲間、デモに、あま

は東京交渉へ直接、体を動した仲間たちの力が大きくものをいっている。  
「もちろん、世の大きな流れ、反行革・反中曾根の動きとも無関係ではありえないが」  
釜の仲間の団結力は、実際、大したものだ、と思ふ。  
暴力手配師追放、飯場追放なども、カカンに斗う力を、釜は持つている。  
だが、しかし、仕事がないというところについては、あまり有効に力がはつきされていはいない。もっと組合にカンパツ、テモらわなくては、で、一ことはすおたろうか。団結とは、組合とは、

# 日健廃止反対の厚生省交渉の報告と今後の闘い方について

勝利号の中に希田の救けないほどのメンバーが結集した東京・厚生省交渉は、厚生省による「見なし適用」認知という成果をあげましたが、それ以外にもさまざまな動きを生みだしています。アブシ支離のアップ(新印刷は7月から支離は8月開始)が国会で承認された日、厚生省交渉の意義と今後の日健廃止反対の闘い方について報告しました。

「健保課長が出てきたけどモゴモゴ言うのでマイクをつきつけたっけ」  
「責任のがれとスリカエの答弁ばかりや」  
「見なし適用について、大阪府の姿勢は知ってる。印刷は全く現金徴収でやってる、なんて言い出す」  
「このウリであることを認めたもの」  
「その責任はアイマイや」  
「制度を改くても、この見なし適用をとりやめるといふことは考えてない」と言わせたのは成果や」  
「見なし適用の人と印刷を貼ってある人との間にある差別的取り扱いについては、大阪府に指導してない」と言いよった」

「大阪府に對して、この点については追求せないかん」  
「この厚生省交渉は、入市民と政府のための土曜協議会というわけ、各専せ場に社会保険事務所を下る件、業者に印刷をもたせる件、登載の費用を改善させる件、日健廃止そのものについてこの件なんかは、継続してやっていくことになった」  
「社会党とは各自団体レベルでも共同することになった」  
「四千人も署名を集めらるる活動組合やということも力になった」  
「それに全国から、我らに書からやけと集まらに六十五人も集まった」ということも大きな力になったと思つた」  
「この交渉のことは、朝日新聞

に載った。そのと読んで大阪の医師会の人を取材にした」  
「医者も日健のことはあまり知らんよつや」  
「仕事がかつたら病又になつても日健が利権でキーン、これを追求すると、就労は労働者やと責任のがれをする」  
「就労とこみこないと日健の意味がなると言うのがゆかっとなんや」  
「総合的視点がないうけや」  
「今後は大阪府の働きかけに力を入らなあかん、府議会のこともすんはいまいるから、請願書も出す、民生部と交渉する、デモもかける、色々やるよ」  
「もっと多くの人の理解・共感を博すことかな」と思つた」